

2024年3月29日
日光交通株式会社

路線バス（乗合バス）の上限運賃改定の申請について

日光交通株式会社では、2024年3月29日に、国土交通省へ乗合バス運賃の上限運賃改定認可申請を行いました。

申請理由及び申請概要等は次のとおりでございます。

お客様にはご負担をお掛け致しますが、事情をご賢察のうえご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

弊社は、東武鉄道(株)からバス事業を移管され路線バス運行を開始して以来、2度の消費税率改定による消費税転嫁のための改定を除くと上限運賃改定を実施することなく、安全運行を最優先としながら、路線網の拡充や利用者利便策の充実を図ってまいりました。しかしながら、この間、社会環境は少子高齢化や人口減少、マイカー等との競合などバス利用者数の確保には困難な状況が続き、さらに近年ではコロナ禍による新たな生活様式の定着により移動需要自体が減少したため、収入面において極めて厳しい事業運営となっております。

他方、バス運転士を中心とする人件費や燃料費は増加傾向にあり、また、最優先事項である安全対策をはじめ、定期的な車両代替や利便性向上策、環境対策等のコストも同様に増加傾向となっており、収入面と併せて事業経営を圧迫しております。

しかしながら、このような事業環境においても、公共交通としての弊社バス事業を今後も安全かつ安定的に継続していく必要があり、そのため今般、上限運賃の変更認可申請を行いました。

今後も引き続き経営努力に努めてまいり所存ですので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2. 申請概要

- | | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 申請日 | 2024年3月29日(金) |
| (2) 運賃改定実施予定日 | 2024年8月予定(認可後決定) |
| (3) 申請対象路線 | 湯西川線（鬼怒川温泉駅～川治温泉～湯西川温泉）
江戸村線（鬼怒川温泉駅～日光江戸村～鬼怒川温泉駅）
仲町線（鬼怒川温泉駅～仲町～鬼怒川公園駅） |
| (4) 上限運賃の平均改定率 | 13.50% |
| (5) 現行・申請運賃比較表 | |

		現行運賃	申請(上限)運賃	実施運賃(予定)
初乗運賃		150 円	180 円	180 円
同 定期券 (1 ヶ月)	通勤	6,300 円	7,560 円	7,560 円
	通学	5,400 円	6,480 円	6,480 円

(6) 主要区間の運賃

(単位：円)

区 間	片道運賃		通勤定期券 (1 ヶ月)		通学定期券 (1 ヶ月)	
	現 行	改 定	現 行	改 定	現 行	改 定
鬼怒川温泉駅～龍王峡入口	450	510	18,900	21,420	16,200	18,360
鬼怒川温泉駅～日光江戸村	420	490	17,640	20,580	15,120	17,640
鬼怒川公園駅～神社前	200	230	8,400	9,660	7,200	8,280

3. 輸送人員及び収支状況（運賃改定対象路線のみ）

		輸送人員	収支状況
2023 年度(申請年度)		137 千人	△13 百万円
2024 年度(推定年度)	運賃改定前	150 千人	△11 百万円
	運賃改定後	143 千人	△5 百万円

※2024 年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請(上限)運賃での推計値です。

4. これまでの経営合理化状況及び今後の取組

弊社ではこれまでも不採算路線の再編や需要に合わせた輸送力の見直しなど、事業運営の合理化を図るとともに、管理コスト削減やアイドルングストップによる燃料費削減等、様々な取組に努めてまいりました。

今後も上記施策を継続しながら、コロナ禍による生活様式の変化に対応した運行ダイヤの見直しや DX(デジタルトランスフォーメーション)による業務効率化等にも努めることとし、継続して経営改善に取り組んでまいります。

5. 安全対策への取組

弊社ではバス事業最大の使命である「輸送の安全」を常に最優先に考え事業に取り組んでおり、お客様に安心してご利用いただけるよう今後も継続して安全性の向上に努めてまいります。

具体的には、運転士への安全教育をはじめとして、運転士に指導を行う管理者への教育も継続して実施しており、今後も引き続きレベルアップを図ってまいります。

また、健康起因の事故を防止するため、全運転士を対象とした睡眠時無呼吸症候群(SAS)のスクリーニング検査や、50 歳以上の運転士を対象とした脳 MRI・MRA 健診を定期的実施しております。

6. サービス向上への取組

弊社ではお客様が乗り降りしやすいノンステップバスの導入や路線延長による大型商業施設や大型病院への乗り入れなど様々なサービス向上策に取り組んでまいりましたが、今後も、ノンステップバスのさらなる導入やお客様のニーズに合わせた運行ダイヤの見直しに加え、お客様の利便性向上のためキャッシュレス決済の導入も検討してまいります。

7. 将来の課題等に対する取組

喫緊の社会的課題としては脱炭素化や労働力(運転士)不足などが挙げられます。特に脱炭素化については、カーボンゼロシティ宣言をしている栃木県日光市に拠点を置く弊社としても積極的に取り組むべき課題であると認識しております。

弊社ではEVバスなどに関する情報収集も積極的に行っており、引き続きこれらの社会的課題に対し積極的に取り組んでまいります。

お問い合わせ先
日光交通株式会社
TEL：0288-54-1154